



LRQA独立保証声明書

リンナイ株式会社の 2023 年度環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいてリンナイ株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、リンナイ株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、2023 年度¹の会社の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000（改訂版）及び温室効果ガス（GHG）排出量については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内外連結会社における運営及び活動 に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 選択された以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価
 - スコープ 1 GHG 排出量(トン CO₂e)^{2,3}
 - スコープ 2 GHG 排出量[マーケット基準、ロケーション基準](トン CO₂e)
 - スコープ 3 GHG 排出量(カテゴリー1,2,3,4,5,6,7,8,11,12)(トン CO₂e)^{4,5,6,7}
 - エネルギー使用量(GJ)⁸

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 下表 1、2 及び 3 に要約される正確で信用できる環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準⁹、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

保証手続

LRQA の保証業務は、ISAE3000（改訂版）と GHG については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

¹ 報告期間は国内と海外の子会社の会計年度に基づく。(1) 国内子会社：2023 年度（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）、(2) 海外子会社：2023 年（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

² GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

³ スコープ 1 のフロン漏洩量の集計範囲はリンナイ株式会社および国内連結子会社とする。

⁴ スコープ 3 カテゴリー 1, 4, 11 の集計範囲はリンナイ株式会社とする。

⁵ スコープ 3 カテゴリー 2, 3, 5, 6, 7 の集計範囲はリンナイ株式会社および国内外連結子会社とする。

⁶ スコープ 3 カテゴリー 12 の集計範囲はリンナイ株式会社および国内連結子会社とする。

⁷ スコープ 3 カテゴリー 12 の対象期間は 2022 年度（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）とする。

⁸ エネルギー使用量の内訳も保証業務の範囲に含む。

⁹ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。



- 報告書内に重大な誤り、記載の脱漏及び誤記載が無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い手順書、指示、及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2023 年度の環境データに関する記録および情報の検証を行った。
- リンナイ株式会社 暁工場及び株式会社ガスター 本社を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行った。
- データマネジメントシステムの運用状況を評価する為、リンナイ株式会社 本社について、e-mail 及び Microsoft Teams によるリモート検証を行った。

観察事項

- 会社のデータマネジメントシステムを継続して維持し、環境データの効率的かつ正確な集計及び算定を確実にすることを期待する。

基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 “温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 - 第1部：要求事項” に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。

全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、そのため我々の独立性あるいは中立性を損なうことはない。

署名

2024年7月19日

由岐中 一順

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LRQA reference: YKA4005612

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2024.



表1. リンナイ株式会社の2023年度温室効果ガス排出量の要約

スコープ	tCO ₂ e
直接的な GHG 排出量 (Scope 1)	34,876
エネルギー起源の間接的な GHG 排出量 (Scope 2、マーケット基準)	63,502
エネルギー起源の間接的な GHG 排出量 (Scope 2、ロケーション基準)	64,457
その他の間接的な GHG 排出量 (Scope 3)	13,143,285
カテゴリー1	889,861
カテゴリー2	132,800
カテゴリー3	16,763
カテゴリー4	8,685
カテゴリー5	4,960
カテゴリー6	1,585
カテゴリー7	5,286
カテゴリー8	(スコープ 1,2 に含む)
カテゴリー11	12,075,588
カテゴリー12	7,755

表2. リンナイ株式会社の2023年度エネルギー使用量の要約

電気		121,924.6 MWh	438,928.6 GJ
都市ガス	構内設備使用分	9,759.7 千 Nm ³	439,285.2 GJ
	自動車使用分	- 千 Nm ³	- GJ
メタンガス		32.4 千 m ³	1,287.7 GJ
LPG	構内設備使用分	2,097.1 t	105,065.7 GJ
	自動車使用分	1.3 t	64.1 GJ
ブタンガス		6.5 t	322.2 GJ
アセチレン		6.5 t	323.9 GJ
エチレン		0.04 t	2.1 GJ
A 重油		0.18 kl	7.0 GJ
灯油		13.3 kl	486.7 GJ
軽油	構内設備使用分	80.4 kl	3,055.2 GJ
	自動車使用分	318.1 kl	12,087.1 GJ
ガソリン	構内設備使用分	4.3 kl	145.2 GJ
	自動車使用分	1,950.9 kl	65,161.2 GJ

表3. リンナイ株式会社の2023年度再生可能エネルギーデータの要約

自己所有の太陽光発電量	自家消費分	1,176.8 MWh	4,236.5 GJ
	売電分	355.4 MWh	1,279.6 GJ
再生可能エネルギー電力購入量		1,329.5 MWh	4,786.3 GJ
カーボンニュートラル都市ガス		22.0 千 m ³	959.1 GJ
カーボンニュートラル LPG		2.5 t	124.2 GJ